

～学校だより～

つながるころ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



つちはし



おおあめ ひ

大雨の日はつらい…

かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちょう やまもと なお
川崎市立土橋小学校校長 山本 直

つちはししょうがっこう ねんきんむ とちゅうほんこん しゅつこう
土橋小学校で10年勤務(途中香港に出向しましたが…)した後、麻生区教育担当指導主事として、
いわず教育委員会事務局に赴任しました。初めての仕事ばかりで、まるで初任者に戻ったような気持ち
で働いていましたが、特に辛かったのは、災害対応の避難所開設に関わる仕事でした。大雨や暴風警報
などが発表されると、市内の多くの学校で避難所が開設されます。その際、学校と教育委員会や区役所と
の連絡、調整を行うのですが、深夜も待機する必要があるため、麻生区役所に交代で泊まることになり
ます。指導主事は2人しかいないため、場合によっては前日フルで働きそのまま泊まり、お昼ごろまで働
いて午後はお休みをいただくという感じでした。学校ではなかなか経験しない仕事だと思っていたので
すが、実は現在は学校でも、避難所が開設された場合は管理職等が最低1名泊まることになっています。
令和元年の台風では川崎市でも大きな被害がありましたが、その時は菅生小学校で教頭をしていまし
た。改修工事中だったため、学校を覆っていた資材がはがれて壊れてしまったり、仮職員室の天井が抜け
て水が大量に落ちてきたりと大変な思いをしましたが、その時は職員室に2泊、およそ38時間連続で
勤務することになってしまいました。今年度も現時点で2回、避難所が開設されており、すでに土橋小の
校長室に2度泊まらせていただきました。幸い被害はなく、避難者も0人でしたので、令和元年に比べれ
ば辛くはありませんでしたが、翌日は腰が痛く頭も働かず、1日中ぼーっとしていました。やはり歳をとっ
てからの徹夜はこたえるなと思いつつも、地域や子どもたちに何も被害がないことが一番ですので、これ
くらいのことで音を上げないよう身体の手入れをしっかりと行いたいと思います。

さて、いよいよ夏休みになります。先日テレビ番組で、「給食がない夏休み中のお昼ご飯をどうする
か?」問題を取り上げていましたが、ご家庭ではお子さんの食事の用意や安全管理に悩む時間が増える
ことだと思います。我が家の息子が小学生の時は、やはり毎日のお昼ご飯の用意が重要課題で、実家に
預ける、弁当を作る、買って置いておく、中抜けて休みを取って一度帰るなど、あの手この手で対応しまし
た。さすがに高校生くらいになってからは、「放っておく」ことが多くなったような…。他にも家庭学習のこ
と、暑さ対策等考えることはたくさんあるかと思いますが、その中でぜひ防災対策の事もご家庭で話題に
していただければと思います。今年度、本校は防災教育にも力を入れています。5年生が自然教室で抜
き打ちの避難訓練を行う等、工夫もしています。特に、台風や大雨の日には、むやみに出歩かずにいかに
安全に生活するか、被害を受けないよう日頃からどう対策するか等、必要に応じて話し合ってくださいこと
で、学校でも議論が深まるものと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、夏休み明け、また元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。